

令和6年度 第1回釜石市立平田公民館運営審議会開催結果

- 1 日 時 令和6年5月17日（金）午後2時～午後2時45分
- 2 場 所 平田集会所 1階 小会議室
- 3 出席委員 5名
中川崇司委員長、佐々木淳子副委員長、佐守直人委員、
福田博委員、高澤友子委員
- 4 欠席委員 久保修一委員、小松美香委員
- 5 事務局等 4名
まちづくり課：佐藤貴之課長、浦城太郎主任
平田公民館：樋岡悦子館長、村田奈々主査
- 6 傍聴者 なし
- 7 結 果
 - ・樋岡館長が定足数を満たしていることを告げ、会議の開会を宣言した。
 - ・佐藤まちづくり課長より委嘱状を交付後、委員長及び副委員長の互選が行われ、中川崇司委員が委員長、佐々木淳子委員を副委員長に決定した。
 - ・令和6年度釜石市立平田公民館運営方針及び事業計画について、資料に基づき説明し、質疑応答後提案のとおり了承された。
 - ・佐藤貴之まちづくり課長より立正大学デリバリーカレッジについてお知らせした。

○委員の主な発言等

<令和6年度釜石市立平田公民館運営方針及び事業計画について>

- [意 見]：AEDの使い方だが、婦人消防として毎年講習をやっているが、やっても、いざとなると忘れてしまう。消火器の扱い方も同じだ。続けることが大事だと思う。
- [質 問]：今年の計画の中で、いつもとは違う新しいものはどれか。
- [事務局]：乳幼児期の中心とした事業で『おやこのアソビバ』が新しいものとなっている。
- [質 問]：対象者は未就学児とその保護者としているが、高齢者も参加して良いのか？
- [事務局]：今回未就学児と保護者向けに公民館だよりに予告編として掲載したところ、高齢者の方から「私も参加したい。」と連絡があり、そこは「対象ではない。」と言うより、来てもらい、子供の様子を見て元気になってもらい、子供は「かわいいね。」と言われてかわいがられる等、心が健康になればと思い柔軟にやってみようと思っている。
- [意 見]：常日頃から公民館の活動では子供達がお世話になりありがたく思う。昨年度の事を振り返ると情報モラル事業でお世話になったり、つながるカフェで、お年寄りと交流できたり、公民館まつりで作品を展示していただきすごく励みになった。3月には子ども食堂で子供達もたくさんお世話になった。色々な部分で地域の心強い公民館の取り組みを小学校も含めてよろしく願いたい。
- [事務局]：「やってみたい。」と声があれば、私達は協力したいし、色々な平田地区の中で子ども食堂をやってもらえれば良いと思う。
- [意 見]：事業がいっぱいあり人集めが大変だと思う。職員の方々も苦勞すると思う。ぜひ頑張ってください。

<その他>

[事務局]：毎年開催している立正大学のデリバリーカレッジについて、今年のメニューを考える時に、見てすぐわかりやすそうな内容3点に絞った。難しく考えないで参加してほしい。3回絶対参加しないといけないというわけではなく、興味を示すものだけでも構わない。公民館にもチラシを置く。参加する際、名前、住所、連絡先を言ってもらいたい。今まで高校生からにしていたが、今年から中学生から対象になった。将来的には夏休み期間、冬休み期間に小学生が受けることができれば自由研究の題材になると思いつつも、皆さんで来ていただければと思う。

以上